

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	YCCもこもこ茨木・吹田教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月1 日		2025年 3月31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年2 月 1日		2025年 3月31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4 月28 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「学ぶ」と共にお子さまにとって、安心して、楽しく過ごせるアットホームな居場所であること	「やってみたい」と思えるポジティブな声かけを大切に、先生と一緒に「楽しかった」と思える経験を重ねることで、「またやってみよう」につながる気持ちを育てていきます。お子さまが自分のペースで前に進めるよう、工夫した取り組みに努めます。	お子さま一人ひとりに合わせた興味を引き出す教材の工夫の向上、充実を図る取り組みを続けます。また、成功体験を「ともに喜ぶ」ことを大切に、自信を育みながら、次への意欲につなげていきます。安心できる環境づくりと、あたたかな関わりを通して、学びの場をさらに豊かにしていきます。
2	担任制を設け、それぞれのお子さんの特性やニーズに合わせた学習支援と交流支援の充実さ	担任制により、日々の小さな頑張りや成長を見逃さず、丁寧に寄り添います。お子さまそれぞれにとっての必要な学習を、特性や関心を踏まえて、年齢にとらわれず、個別的に支援します。それぞれのお子様にとっての個別の学習を通して、自信を育て、自己肯定感を高め、社会の中で生きる力に繋がる支援を行なっています。	お子さまの将来の自立に向け、お子さまひとりひとりにとって適した支援を行い続けるために、お子さまと保護者さまのお話を伺い随時アセスメントを行い、その時に必要な情報提供を行えるようにします。
3	保護者様への相談支援	ご家族さまの様々なご心配ごとに対して、相談内容に制限を設けず、一緒に考えることを大切にしています。まずは、傾聴の上、お子さまとの関わり方や進路についてアドバイスを行うこともあります。	様々なご心配ごと、相談内容に対して、より適切な支援を行うことができるように、関係機関との連携を通じた関係の向上を図ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会の少なさ	個別支援を中心とした事業の性質上、不特定者との交流を希望しない方もいらっしゃることもあり、機会の実施とまで、いかなところがあります。	希望者を募ったり、ニーズを確認したうえで、地域交流の機会を検討していきたいと考えています。
2	保護者同士の交流の場が少なく、横のつながりを作る機会があまりない	もこもこ事業所全体で保護者会を開催したことがありませんでした。	今後も、案内は全体のLINEで周知を徹底し、希望者を募っていきたくと思っています。
3	支援室のスペースの狭さ	グループワークにて、身体を使った活動を取り入れる際に、十分なスペースの確保が難しいが、風船バレーなど、安全面に気を付けながらできる活動を取り入れています。	今後も安全面に配慮してできる活動計画を考えていきます。

事業所向け 放課後等デイサービス・自己評価表（茨木吹田教室）

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100 %	0 %	0 %	
	2	職員の配置数は適切であるか	86 %	14 %	0 %	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	29 %	29 %	43 %	
業務 改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	71 %	0 %	29 %	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100 %	0 %	0 %	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	71 %	29 %	0 %	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	86 %	0 %	14 %	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100 %	0 %	0 %	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100 %	0 %	0 %	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	43 %	0 %	57 %	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	71 %	29 %	0 %	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	86 %	14 %	0 %	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	57 %	29 %	14 %	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100 %	0 %	0 %	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	71 %	29 %	0 %	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14 %	43 %	43 %	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100 %	0 %	0 %	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100 %	0 %	0 %	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	57 %	43 %	0 %	
保護者や関係機関との連携	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100 %	0 %	0 %	
	21	学校との情報共有、連絡調整等を適切に行っているか	86 %	14 %	0 %	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	29 %	29 %	0 %	(無回答：43%)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0 %	29 %	43 %	(無回答：29%)
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0 %	14 %	43 %	(無回答：43%)
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	29 %	29 %	29 %	(無回答：14%)
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	43 %	29 %	29 %	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100 %	0 %	0 %	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0 %	57 %	29 %	(無回答：14%)
	保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100 %	0 %	0 %
30		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100 %	0 %	0 %	
31		保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	29 %	14 %	57 %	・もこもこ全体として取り組むようになった。

	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100 %	0 %	0 %	
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	71 %	0 %	29 %	・ブログ発信となっている。
	34	個人情報に十分注意しているか	100 %	0 %	0 %	
	35	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100 %	0 %	0 %	
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100 %	0 %	0 %	
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100 %	0 %	0 %	
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	86 %	0 %	14 %	
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100 %	0 %	0 %	
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	71 %	29 %	0 %	
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100 %	0 %	0 %	

【ご利用者様回答】 放課後等デイサービス評価表（茨木吹田教室）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見	教室の対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースは、十分に確保されていますか	96 %	4 %	0 %	0 %		整理整頓し、教室をなるべく広く使えるように気をつけています
	2	職員の配置数や専門性は適切ですか	96 %	0 %	0 %	4 %	・分かりません。	子どもに目が行き届くように配置、専門性に関しては研修などを行ないます
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされていますか	44 %	44 %	4 %	7 %	・分からない。	入口から外へ飛び出さないように視覚化してお伝えします
適切な 支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていますか	100 %	0 %	0 %	0 %		毎回のフィードバックでお子様のご様子を共有しながら、半年に一度モニタリングを行なっています
	5	課題等プログラムが固定化しないよう工夫されていますか	100 %	0 %	0 %	0 %		課題を固定化した方がよいお子様は保護者さまと相談をして固定化しています
	6	学校や他機関との連携に努めていますか	48 %	44 %	0 %	7 %	・対象外	ニーズに応じて連携を行なっています
保護者様 への説明など	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか	100 %	0 %	0 %	0 %		ご不明な点がある場合はいつでもご納得が頂けるような説明に努めます
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	100 %	0 %	0 %	0 %		場合によっては事業所内相談も行なっています
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか	100 %	0 %	0 %	0 %		今年度も保護者会や講演をもちもこ全体で取り組みます
	10	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか	78 %	22 %	0 %	0 %		苦情を頂いた場合は出来る限り真摯な対応を心掛け、改善出来るところは改善を行なっています

保護者への説明など	11	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか	100%	0%	0%	0%		意思疎通や情報伝達しやすい環境を心掛けます
	12	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していますか	81%	19%	0%	0%		ブログや保護者様向け一斉LINE、個別LINEなどを通して情報の発信を行なっています
	13	個人情報に十分注意していますか	96%	4%	0%	0%		今後も個人情報の取り扱いに注意していきます
非常時等の対応	14	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか	67%	30%	4%	0%	・分からない。	今後も公式LINEを通して周知の徹底に努めます
	15	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	48%	41%	7%	4%	・分かりません。	避難場所は、穂積小学校になります。避難方法、訓練をスタッフ間で強化したいと思います
満足度	16	子どもは通所を楽しみにしていますか	89%	11%	0%	0%		お子さまが安心して楽しく過ごせる居場所となるためにスタッフで話し合いを重ね取り組みます
	17	事業所の支援に満足していますか	100%	0%	0%	0%	・送迎の問題で平日の利用が難しいのですが、成長して問題がクリアできれば日数を増やしたいです。母子共に駆け込み寺のような存在です。	・今後は、祝日、長期休暇の際にイベントなど新しい企画も考えたいと思っています